

# 生麦中だより

令和8(2026)年 4月号



《 共に育ち、学び続ける 》

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/namamugi/>

## 未来を拓く生徒たちのために

校長 小倉 孝行

校庭の木々も新緑の若葉をまとい、生命の躍動する春本番がやって来ました。4月7日(火)、令和8年度の着任式、始業式、そして237名の新入生を迎えての入学式を行い、全校生徒合わせて717名での令和8年度がスタートしました。校長の小倉孝行です。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。



8組の生徒たちが育てた菜の花が、大きく成長しました。

入学式ではご来賓の皆様、保護者の皆様にご臨席いただき、新入生の晴れの舞台と一緒に祝福できたことは本当にありがたいです。始業式では新2年生、新3年生のやる気に満ちあふれた様子を見ることができました。春休み中ご家庭にてお子さんに新年度に向けた意識付けをしていただいたおかげです。ありがとうございました。

令和8年度の開始にあたり、学校づくりに向けた校長の考えを全教職員に伝えました。第一は「生徒が笑顔でいられる、温かい学校づくり」です。生徒一人ひとりにとって、「だれもが」「安心して」「豊かに」学校生活を送れることが一番大切だと考えています。全ての生徒にこうした状況を作ることにはかなり難しい課題です。ですが、課題の克服に向けて、担任だけではなく、様々な教職員がお子さんに寄り添い、一歩ずつ着実に取り組んで参ります。第二は「保護者の気持ちになって、生徒を支える学校づくり」です。「自分が生徒の保護者だったらどうしてほしいか。」という考えで、判断と行動ができるように努めて参ります。第三は「地域とともに歩む学校づくり」です。本校は、言うまでもなく「地域の学校」として、地域の皆様と様々な形で連携し、ご支援いただいております。今後も地域の学校としての役割をしっかりと受け止め、地域の皆様との絆を大切にしながら取り組んで参ります。

入学式、始業式では、私から生徒たちに「あなたの未来を拓くのは、あなたにしかできない」という話をしました。義務教育終了後、生徒たちはどのような進路を選択したとしても、自立し、社会を生き抜くための基礎的な力を身に付けていなければなりません。この中学時代、仲間たちと汗をかき、迷いながらも、卒業後の自分の道を見つけるために様々なことに挑戦してほしいです。

また、入学式では、保護者の皆様にも「いじめ防止対策推進法」についてもお話ししました。生徒の健全育成のため、「社会で許されない行為は学校でも許されないこと」、「警察や児童相談所、教育委員会、区役所等の関係機関と緊密に連携していくこと」、「被害者がいじめと感じた場合、行為の程度や、行為者の意識にかかわらずいじめと認知すること」をお伝えしました。中学校3年間は、お子さんの人生において、大きく成長する大事な時期です。悩みや不安を抱えながらも、日々、確実に成長していきます。間違いありません。重要なのは、保護者の皆様と教職員が信頼関係を築き、緊密に連携をとっていくことです。いじめに関わらず、気になることがあれば遠慮なく学校にご相談ください。生麦中学校は、全教職員が組織として生徒一人ひとりに支援をして参ります。保護者の皆様、地域の皆様の協力なくしては何もできません。未来を拓く生徒たちのために、皆様のお力をお貸しください。

それでは皆様、一年間どうぞよろしくお願ひいたします。